

2013年
と

謹賀新年

今年もよろしくお願いたします

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)

明けましておめでと
うございます。皆さま
方もそれぞれ新たな気
持ちで新年を迎えられ
たことと思います。

「1年の計は元旦に
あり」といいますが、
出来ることなら正月三
が日は炬燵に首まで
入り込んで、出来もし
ないことと判っていて
も新しい年の抱負に思
いを巡らせて、ボーッ
として過ごしたいもの
です。しかし、娑婆の
付き合いでそんなささ
やかな願いも許されな
いのが現実です。私の
町内では、1日は神社
に集まって「共同年賀」
がおこなわれます。元々
は30戸程の農村集落
でしたが、今では12
0戸を超えてしまいま
した。新しく売り出さ
れた43戸の団地はほ
ぼ完売となり、昨年1

年間に20戸が入居し、
現在も新居の建築が進
められています。元々
の少ない集落戸数にし
ては立派な社殿ですが、
それでも拝殿には40
名も入ればいっぱいです。
集まった者が一斉に柏
手を打ち、お神酒を飲
みかわして1時間ほど
で解散になります。春
の夏のお祭り、夏の冬
の大祓い、1月中旬の「ど
んど焼き」そして「そ
れいけ夏まつり」と称
する町内主催のイベン
トなど、広い境内をも
つ神社は公民館と並ん
で町内の拠りどころと
して利用されています。
私たちの子供の頃は毎
日のようにやっていた
境内での草野球はさす
がに見られなくなりま
した。

2日には、町内の内
山家6軒が揃って菩提
寺に年賀に訪れます。
以前は寺から大変な接
待を受けて、朝に出か
けて帰りは暗くなつて
からだったということ
ですが、さすがに今は
読経とお祓いの後は茶

菓の接待だけです。古
くからのしきたりが続
いているのですが、他
の檀家では揃って寺の
年始に行くようなこと
はないようです。
その間を縫って近隣
の親戚などへの年始回
りが3日ころまでかか
ります。これも正月と
盆の「棚まえり」の2
回の訪問がこの地域の
習わしで続けられてい
ます。

今年1月6日の日
曜日に、町内会と農家
組合の「春評議会」が
午前中、午後からは「町
内新年会」が開かれま
した。新年度は3月か
らで、その前に「総会」
が開かれますが「春評
議会」では新年度の事
業方針原案が執行部か
ら提案され、会員から
の要望なども踏まえて
執行部は「総会」に提
案する事業計画や予算
案を作成します。執行
部の構成は町内会が町
内会長、副町内会長、
総務担当、会計担当の
4名。予算規模は40

0万程です。農家組合
は農家組合長、副農家
組合長(会計担当)、
土土担当の3名体制です。
20年ほど前に私が役
員をしていた時に新規
の入居者が増加しはじ
めたので、町内会と農
家組合の役員と会計を
分離して、それぞれ独
立させました。かつて
は集落全体が農家だっ
たのですが、今では稲
作農家は12戸のみで
集落全体の水田面積は
20ヘクタールほどし
かありません。役員会
だけは合同でおこなつ
て町内会と農家組合は
連携しています。町内
会と農家組合を切り離
したことによって、新
しく入居した人たちの
町内会行事への参加も
多く、例えばコミュニ
ティ主催の運動会は3
年連続で地区優勝する
など、町内会としての
まとまりができていま
す。

のあたりがたいことす
除雪作業もほとんど
日課です。間口7メー
トル、奥行50メー
トルの育苗ハウス2棟

のうち1棟は農機具な
どを保管するために屋
根を張ったままにして
いますが、わずかな降
雪でも肩まで雪が積も
ってしまいますので度々
除雪機で雪除けをしな
ければなりません。被
覆材を巻き上げた隣の
ハウス内に雪を飛ばす
のですが、隣のハウス
との間が狭くて結構神
経を使う作業です。
様々な団体の新年会
なども次々に予定され
ていて、1月もバタバ
タとせわしない毎日が
続きそうですが、この
先の毎月もそんな繰り
返しで、近年は気付い
た時には一年が過ぎて
しまっていたという繰
り返しです。

〈裏面へ続く〉



食味検査・米粒検査の結果(6検体の平均値)

らでいっしゅぼーや(株)より

□ ■ エコ・ライス平成24年産米平均値 ■ □

検査項目	平均値	
タンパク質	5.99	7を境界として小さいほうがよい
水分	15	15~15.9が適正
アミロース	19	17~22が適正
評価値	75.1	70~74が良 75~79が優良
整粒	71.7	
胴割れ	15.0	値が少ないほうが良
未熟米	10	
被害粒	2.5	
死米	0.85	

《内山常蔵記》

安倍新政権が発足して、次々に民主党政権の政策からの転換が始まっています。農家政策についても戸別保証制度は今年産限り、来年度からは他の政策との関連性やTPPとも絡んで大きく変更されると言われています。農業関係者にとっては何より天候の良し悪しが気にかかる場所ですが、こちらだけは長期的な見通しは難しく、人智の及ばないところだと思います。しかし、政治は人がやることですから、しっかりと長期的な展望を踏まえての議論は可能であり、参議院対策等という姑息な当座しのぎは願いたくないものです。

価格政策も要因?

コメ業界内には困惑が広がった。アナリストや業者は、(中国のコメ需要が)急増した理由や国際的な食糧価格と国際経済への影響の究明を急いでいる。一部のアナリストは、中国の消費需要が膨張したため、買いあさり起きたと見る。国連食糧農業機関(FAO)の上級エコノミストは、「今のペースが続けば、中国のコメ需要により生じる不足分を、他の国が埋め合わせる事ができるのか懸念される」と話す。

国際的なコメ市場に、巨大な驚くべき買い手が登場した。中国だ。中国は数十年の間、コメの生産量を増やしていたが、この世界最大のコメ消費国が主要な輸入国に転じたのだ。

米農務省によると中国は2012年、過去最多となる260万トンの精白米を輸入した。11年の輸入量は57万5000トンのみだったから、この傾向が大きく加速した形だ。

THE WALL STREET JOURNAL.

ウォール・ストリート・ジャーナル

(本紙提携、1月9日掲載)

中国のコメ輸入急増



北京のスーパーでコメを購入する買い物客(昨年7月、AP)

別の理由があるという人もいる。中国政府が定める米価は同等のコメの国際市場価格よりはるかに高く、ベトナムやパキスタンなどからコメを購入し、高値で売りさばく中国人業者が利益を得ているというのだ。ベトナム産コメの平均輸入価格は昨年12月中旬、1トン当たり約4100ドル(約3万6500円)だったのが、中国では約6350ドル(約5万6500円)で売れたという。

ロンドンを拠点とする、ある研究機関のエコノミストは、農家は政府に売るが、消費者は結果的に外国産のコメを買っていると話す。政府が

世界的影響も

買い取ったコメの多くは加工・消費されずに備蓄に回され、(政府の米価と国際市場価格の)差が縮小すれば輸入は減るとみられる。

仮に消費量の増加がコメ需要増の原因であれば、米価は今後数年から数十年の間、さらに高騰するとみられる。一方、政府の価格政策に反応して買われているのであれば、政策が転換すれば国際価格が不安定化する恐れがある。

コメ価格の動向が重要なのは、世界人口の半数以上がコメを主食とするからだ。コメ価格の上昇は小麦やトウモロコシなどの他の穀物の価格上昇を引き起こす傾向もある。08年のコメ価格の急騰は他の穀物の価格上昇を招いた。このため世界的な食糧危機が発生し、多くの国での暴動や政治的混乱の引き金となった。

コメ消費国の大半は大規模な生産国でもあるため、国際的に取引されるのは総生産量のうちわずかだ。FAOによると、12年に国際的に取引されたコメは、世界の供給量の7.7%に当たる3730万トンに過ぎなかった。中国は年間約1億4000万トンを消費するため、中国の取引動向は大きな影響力を持つ。

FAOのアナリストは、中国のコメ備蓄量をより正確に把握しようと努めている。輸入の増加と国内価格の上昇は、備蓄量がそれまで考えられていた量より少ない可能性を示すとみられている。FAOは現時点で、中国の備蓄量が9月末に9370万トンに達すると予測する。これは全国民が8か月半食べるのに十分な量だ。だが、FAOの上級エコノミストはこの推計は、おそらくは多過ぎると話す。

米農務省は、中国の13年の需要は供給を100万トン上回り、このため中国は13年も相当量を輸入するとみている。(キャロリン・クイ記者)

2013年1月16日 読売新聞より

©2013 Dow Jones & Company, Inc. All Rights Reserved. Reprinted by Permission.